

補助金活用による情報環境整備で目指す教育効果

令和2年7月29日  
公益社団法人私立大学情報教育協会

年度別集計結 目指す教育効果	2021年度に目指す教育効果											2022年度に目指す教育効果											2023年度に目指す教育効果											2024年度に目指す教育効果														
	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値				
	回答 数	10	20	30	40	50	60	70	80	回答 数		10	20	30	40	50	60	70	80	回答 数	10		20	30	40	50	60	70	80	回答 数	10	20		30	40	50	60	70	80									
1. 遠隔授業システムを用いて、学生の学修機会を確保し、学修内容の理解度向上を図る	※ 143	79%										60	※ 109	68%										70	※ 90	64%										80	※ 73	60%										80
2. LMS(学習支援システム)等を用いて、事前・事後学修の学修時間を増加し、知識定着と理解度向上を図る	※ 109	61%										55	※ 99	62%										60	※ 86	61%										70	※ 75	61%										80
3. 教員と学生間のコミュニケーションを促進し、主体的な学修の促進を図る	※ 114	63%										50	※ 99	62%										60	※ 94	67%										70	※ 74	60%										77
4. 反転授業やeラーニングを普及させ、知識・技能の定着を図る	※ 102	56%										50	※ 87	55%										50	※ 80	57%										70	※ 62	50%										73
5. アクティブ・ラーニング、PBLなどの学生主体授業を充実し、問題発見・解決力の向上を図る	※ 86	48%										40	※ 84	53%										50	※ 73	52%										60	※ 54	44%										70
6. 教員と学生、学生同士による双方向型授業通じて学修意欲などの向上を図る	※ 91	50%										50	※ 83	52%										50	※ 74	52%										60	※ 58	47%										70
7. 地域社会や産業界と連携した授業を通じて、課題解決力と実践力の向上を図る	※ 36	20%										50	※ 32	20%										60	※ 30	21%										70	※ 18	14%										70
8. グループ学修を充実させ、発表・相互評価を通じて主体性・多様性・協働性の向上を図る	※ 62	35%										50	※ 55	35%										60	※ 56	40%										68	※ 42	34%										70
9. 分野を横断した学びを通じて、知識の組合せ、発想力・構想力の向上を図る	※ 17	10%										40	※ 15	10%										50	※ 13	10%										50	※ 11	9%										55
10. 海外大学との遠隔授業などを通じてグローバル化対応能力の向上を図る	※ 19	11%										22	※ 18	11%										30	※ 17	12%										50	※ 14	12%										53
回答数合計 (※教育効果の項目1～10は複数回答可)	181	※ 達成度の中央値が50%以上は○ ↑										159	※ 達成度の中央値が50%以上は○ ↑										141	※ 達成度の中央値が50%以上は○ ↑										123	※ 達成度の中央値が50%以上は○ ↑													